

分類不能の産業

支援先企業の概要			
・業種	分類不能の産業		
・創業後年数（10年未満であれば）	<input type="text"/>	・企業規模（中小企業者に該当する場合には）	<input type="text"/>
経営支援前の企業の状況			
支援先は、機械設備設置業で受注先は安定しており、損益面は償却後経常利益黒字を確保している。しかし、業種柄仮払金や役員貸付金等が過大であり、財務内容に問題を抱えていた。又、借入依存度が高くこの財務内容では取引金融機関の拡大もおぼつかず、将来の事業安定に不安があり、経営改善が必要であった。			
経営支援概要			
< 当行の施策 >			
具体的改善提案 役員貸付金の処理の必要性を説き、退職金による貸付金相殺を行った。（不良資産の削減） 役員退職による役員保険返戻金を借入金返済に充当した。（有利子負債の削減） 役員仮払金は役員個人の資金で処理させた。（非稼働資産の削減） 自己資本増強のため、役員及び役員親族からの増資を行った。（自己資本の増強）			
< 当該企業の施策 >			
上述の提案を約2年かけて説得し、財務体質を健全化させた。 * 実質長期債務償還年数 7.6年 5.0年以内と短縮させた。 * 自己資本比率 2.0%台 7.0%台と拡大させた。			
経営支援後の企業の状況			
財務体質の改善により資金調達がスムーズに行くようになったと共に、社内の改善への取組が積極的になり、自らが進んで経費削減努力を行うようになった。 又、社員のモチベーションも上がり、円滑な会社運営が為されるようになった。 その他、管理面強化のため金融機関OBを経理担当として採用。取引金融機関を増やし、資金調達力の拡大に取り組んでいる。			